

プレゼンテーション入門 ～駆け足中級編～

多言語・多文化社会論入門
2008年1月20日(火)4限
青山 亨

説明の流れ

1. プレゼンテーションを学ぶことの意味
2. プレゼンテーションの3要素
3. 第1の要素「揃える」
4. 第2の要素「組み立てる」
5. 第3の要素「伝える」
6. パワーポイントを使ってプレゼンテーションを組み立てる 

なぜ、プレゼンテーションなのか？

- プレゼンテーションとはなにか？
 - プレゼンテーションとは「伝える」こと
- なにを伝えるのか？
 - 自分の「考え」を聞き手に伝える
- 何のために伝えるのか？
 - 聞き手の「考え」を動かすために
- なぜ、プレゼンテーションなのか？
 - 「考え」は「伝えて」はじめて意味がある

独覚(どっかく)

प्रत्येक बुद्ध
麒麟の一本角のように



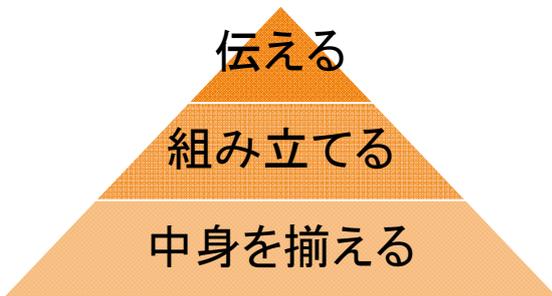
なにが、プレゼンの基礎か？

- なぜ伝えるのか？
 - 人に伝えたいという「気持ち」があるから
- どう伝えるのか？
 - 聞き手の立場にたって伝える
- 聞き手の立場にたつポイント
 - 聴覚—耳に届いているか
 - 視覚—見て分かりやすいか
 - 理解—聞き手にわかってもらえるか
 - 感動—聞き手を動かせるか

プレゼンに取りかかる前に

- 何を伝えたいのか？
- なぜそれを人に伝えたいのか？
- 伝える聞き手はだれか？
- どうして、クイズ番組の答えは頭に残らないのか？

プレゼンテーションの3要素

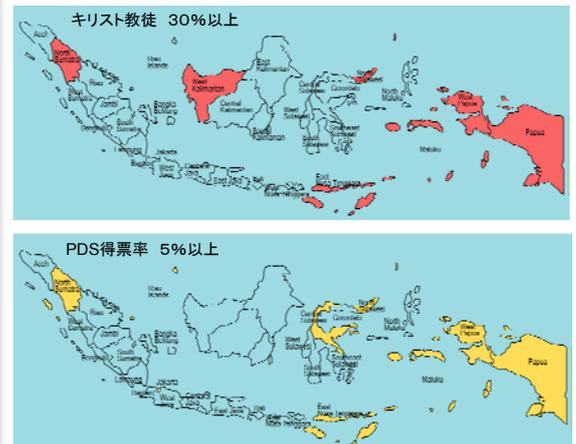


1. 中身を揃える

- データを集める
- データを選り分ける
- データをまとめる
 - 関連・類似: グループ化する
 - 対比: 異なった対象ごとに並べる
 - 変化: 時間軸に沿って並べる
- データを視覚化する
 - グラフ、表、写真、地図、イラスト

データの収集・分析・視覚化

- インドネシアはどれだけイスラームか？
- データの収集・選別・分析・視覚化
 - 2004年総選挙投票結果
 - 2000年国勢調査: 宗教別人口
 - インドネシア地図
- 地域による宗教と政治行動の連関

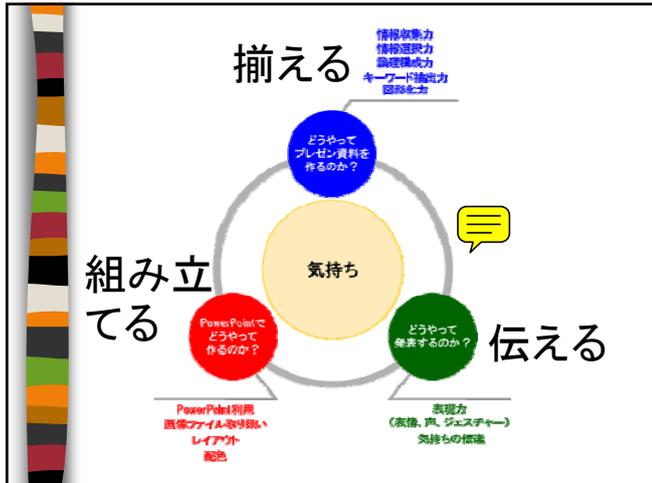


2. 組み立てる

- 導入: 聞き手をつかむ
 - 聞き手の予備知識、理解力、期待にあわせる
- 本体: 前提と結論
 - 根拠から結論へ
 - 結論から理由へ
 - 全体から部分へ
- 結尾: 聞き手をつかむ
 - キーワード

3. 伝える

- 発表者が主役、スライドは脇役
 - 姿勢
 - 視線
 - 声
 - 表情
 - ジェスチャー
- 話の流れをスライドが支える工夫
- 話の流れをスライドが邪魔しない工夫



パワーポイントによる「組み立て」

1. パワーポイントの基本概念
2. パワーポイントでできること
3. スライド作成の基本的流れ その1
4. スライド作成の基本的流れ その2
5. スライド作成の応用テクニック
6. プレゼンテーション実施上の注意点
7. まとめ

パワーポイントとは？

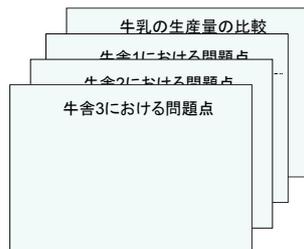
- パワーポイントはプレゼンテーションの道具。
- プレゼンテーションとは、言葉とそれを助ける視覚資料を使って、その場にいる多数の人々に、自分の考え(アイデア、意見、発見など)を、提示すること。
- present>presentation。「もらってうれしい」

1. パワーポイントの基礎概念

- スライド
- オブジェクト
- 両者の関係は紙芝居と切り紙に類似

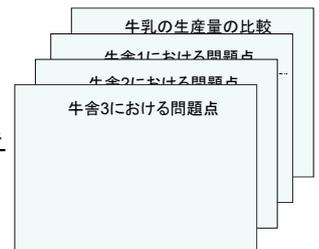
スライドとオブジェクト: 紙芝居と切り紙

- プレゼンテーションの最小単位はスライド
 - スライドは紙芝居の1枚の紙に相当
- スライドに貼り付けられたものがオブジェクト
 - オブジェクトは紙芝居に貼られた切り紙に相当
 - スライド上の図、写真、表や文字テキストはすべてオブジェクト



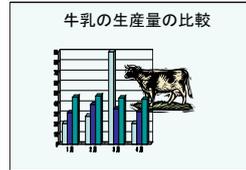
スライドの特徴

- 追加ができる
- 複製が作れる
- 順番の変更ができる
- 削除ができる
- 視覚効果: 画面切り替え



オブジェクトの特徴

- 追加・削除ができる
- 配置が変更できる
- 重ねることができる
- 大きさの変更ができる
- 色・形の変更ができる
(オブジェクトの種類による)
- 視覚効果:アニメーション。
ただし、やりすぎは禁物



2. パワーポイントでできること

- 説明: 聴衆に新しい情報や概念を伝える
 - 例: 「世界各地の子どもの遊び」
 - 例: 「台湾の子どもの遊びの場面」(写真)
- 説得: 聴衆にある行動を取るよう説得する
 - 例: 「語劇に多くの観客を呼ぶための戦略」

まとめ

- もっとも大切な要素:
 - データ(事実)
 - データを説得的につなぐストーリー(論理)
- 二次的な要素:
 - デザインやアニメーションなどの視覚的な効果
 - しばしば本末転倒となるので注意
 - 見栄えは最後に、最小に
- 文字は少なく、大きく
 - キーワードを活用
 - 説明は発表者の言葉で

ありがとうございました。

Ver 1.0 2009-01-20

参考資料

- 杉田恭一「泣ける!! プレゼンテーションへの8つのステップ」
http://www.nakeru-p.com/intro_1_1.html
- 西野浩輝『5日で身につく「伝える技術」ビジネスで成功するプレゼンテーションの奥義』東洋経済新報社。